



JA兵庫みらい
営農経済部 あぐり創生課
TEL 0790-47-1282
FAX 0790-47-1674
2025. 10月号

園芸 【春どりキャベツを作ろう】

この時期の作型は秋まき栽培となり、収穫は年明けの5月～6月頃になります。

●苗づくり・畑の準備

秋まきキャベツの種まきは、9月～10月頃までが適期となり、品種は「春波」や「五月晴」などがあります。また、肥大性が良く作型を選ばない品種として「おきな」もあります。

セルトレイを用意して育苗培土を入れた後、たっぷり水をかけます。その後播種を行い、覆土をして再度少量の水をかけます。播種後の管理は、培土が乾ききらいなよう散水を行います。子葉から本葉では、苗の徒長の原因となりますので、水のやり過ぎや夜間の灌水は控えましょう。

畑は日当たりが良く、排水性に優れた畑を選定してください。根こぶ病など、土壌病害の多発地では、連作を避けるようにしましょう。



●定植・追肥・その後の管理

定植は11月上旬頃からはなり、本葉5～6枚の頃に深植えにならないように注意して定植してください。標準的な畝間は60～80cm、株間は40cm程度です。

定植後、1回目の追肥（40g/㎡）は植え付け2週間後に行い、2回目の追肥（50g/㎡）は結球初期（目安：本葉15～20枚程度）にそれぞれ行ってください。結球初期を目安に除草を兼ねて中耕をした後に追肥を行います。また、追肥後は畝間灌水を行うことで肥効が上がります。ただし、灌水ができない場合には、雨の前に追肥を行うなど肥料の効果を十分発揮できるように工夫してください。

栽培期間中は最高気温が10℃を下回る場合、支柱を立て寒冷紗や不織布などを使用し、トンネル状にして覆い寒さから株を守りましょう。

●収穫のタイミング

収穫は球を手で押して硬く締まった個体から収穫してください。収穫遅れは裂球や品質低下の原因となりますので、本来の「キャベツのおいしさ」を味わうために適期収穫を心掛けましょう。

●病害虫対策のポイント

キャベツ栽培で注意が必要な病気については、軟腐病、黒腐病、菌核病、根こぶ病などがあります。害虫では、アブラムシ類、アオムシ、コナガ、ヨトウムシ類があります。

日々のキャベツの状態を観察し、早期に病害虫を見つけ、症状が軽いうちに農薬での防除および物理的に除去するなど対策を行うことが大切です。

◎ご不明な点がございましたら、気軽に最寄りの営農生活センターまでご相談ください。

JA兵庫みらいのお米 品質向上対策！ 高品質な米作り＝健康な土づくり



水 稲 【土作りをしましょう】

稲の根が張れる範囲（根域）が拡大するとともに、土壌養分保持量が増大し、生育後期まで養分供給が可能となります。

●堆肥・アヅミン等の有機物の施用

「アヅミン」や牛糞堆肥などの有機物資材の施用は、土壌の腐植酸を補充します。腐植酸は、作物の発根や根毛形成を促すことで養分吸収を促進させる効果や、土壌の団粒構造を保ち保肥力や保水力、排水性、通気性を向上させる効果があります。



●ケイ酸・腐植酸の土壌養分補給

稲は、他の作物に比べて非常に多くのケイ酸が必要で、玄米 100kg 生産するのに 20kg のケイ酸が必要といわれています。

水稻はケイ酸作物と言われるように、ケイ酸を多く必要とします。ケイ酸資材の施用は、稲の根や茎、葉を丈夫にするため、病害虫に対する抵抗性、倒伏の軽減や受光態勢の改善による光合成促進が期待できます。また、「アヅミン」の主成分である腐植酸を補給することによって保肥力を高め肥料成分の吸収を促進する効果があります。

土力の達人 ●倒伏軽減・食味向上に！

- ・成分⇒く溶性りん酸 6.0%：く溶性苦土 12.0%：可溶性けい酸 32.0%
アルカリ分 45.0%
- ・茎葉が強くなるので、倒伏しにくい効果病害虫に対する抵抗性が向上します。
- ・茎葉が直立し、受光体勢がよくなり、登熟歩合も高くなる等の効果が期待できます。



粒状濃縮堆肥 新ふいかけ堆肥

- ・有機物施用で土壌の物理性【保水性・透水性・通気性】を改善！
- ・腐植酸の効果で根張りを向上させます。
- ・ゼオライトで肥料の流亡を抑制します。



【農作業事故に注意しましょう！】

まだまだ暑さが続いていますので、無理をせず適度に休憩をとりましょう。

作業終了間近になると「もう少しで終わるから・・・」と無理をし、心の焦りが事故を招くと言われています。

作業中の注意力低下を防ぐために、適度に休憩をはさんで余裕を持って稲刈り作業等をおこなってください。

問 い 合 わ せ 先

加西営農生活センター
TEL0790-47-1286

三木営農生活センター
TEL0794-82-6150

小野営農生活センター
TEL0794-63-6905